

令和2年6月～8月

糸状の藻類が発生し、主に大池の北側で確認されました。かいぼり後に池の水が透明になりすぎて、藻類が急激に増えたためと考えられます。また、夏になるとミドリムシやアオコが水面に浮きました。1年を通して、夏は高温や雨不足などの影響で水質が悪化しやすい時期ですが、水質を安定させる池の自浄作用の回復が十分ではないと考えられます。



大池で発生した糸状の藻類(6月)



大池の水面に浮いたアカマクミドリムシ(7月)

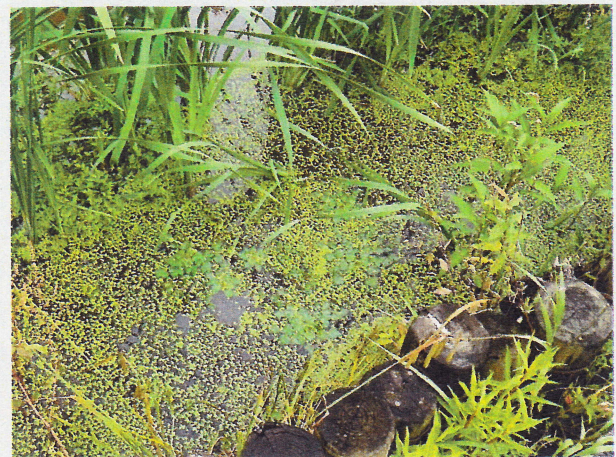
## (2) 大池の在来種

令和2年6月～8月

かいぼり時に造った「浅場」で、多くの水草や湿地の植物が再生しました。この浅場周辺では希少なトウキョウダルマガエルや、チョウトンボなどが確認されました。



浅場に再生した水草群落



浅場内のヒシやウキクサの仲間